

## リズムを中心とした保育

——馬事公苑へ遠足に行き、みんなで楽しく遊ぶ——

松田嘉子

運動会が終って、秋の遠足をちょうど三日後にひかえた日が私のリズムを中心とした保育の実習日でした。遠足の目的地は世田谷の馬事公苑、私はこの遠足を、この日のリズム遊びに取扱おうと思ひ、主題を「馬事公苑へ遠足に行き、みんなで楽しく遊ぶ」

としました。この日のことについて受持ちの先生に御指導いただいた時、先生は、「自分が取上げようとする主題には、まず自分自身がそれに本当に興味をもって当ることが一番大切。」とおっしゃいましたが、それを伺って、「本当にそうだ、自分自身興味も持たないのにお子さんには創造的自由表現を望むなどといっても、こんな不合理なことはない。自分自身いつも創造的気持を持って、多くのものに興味を見出して歩んでいかなければ。」と強く思いました。さて、私の実習受持ちは二年保育の四才児<sup>35</sup>名、池の組、始めての春の遠足は家族

の方がつきそって下さったので自分たちだけ行く遠足は今度が始めて、この遠足を三日後にひかえ期待の気持あふれたお子さんと、まず馬車公苑への遠足について、いろいろ話し合いをして、じゅうぶんその雰囲気盛上げてからリズム遊びにもってこようと思ひました。

郊外にあるこの公苑は幼稚園からバスで約一時間、私の家からは極く近く、何度も遊びに行った経験があるので、この広い公苑のようす―馬が飼われていること、馬の障害物レースのこと、みどりの丘がなだらかに続き、木の葉やどんぐりが沢山落ちてくるようすなど数枚の絵にかいて準備しておきました。これは―お話をして、それをリズム遊びへ発展させる場合、お話に出てくるものがみんなのよく経験したり知っているものならお話だけでじゅうぶんでしょうが、そうでない場合、また年少児の場合などは、絵を仲介してお話する方が印象も

ずっと強まり、自由表現をするのにも役立つ、と思ったからでした。

さて、約半年の幼稚園生活を経たこの組のお子さんは、これまで日常身のまわりに見るもの聞くものの自由表現の経験は、かなり積み、此頃は自由表現を楽しんでまた工夫して思う存分出来る段階になってきています。それでこの日も今まで経験した自由表現を基にして、また新しい自由表現もいれて、リズム遊びを進めようと思いましたが。リズム遊びの曲はリズムのはっきりしたなるべく美しい曲を10曲近く用意し、とくに木の葉とプランコをこぐ自由表現は始めて経験するものなのでその日のリズム遊びの山をこれらに置くことにしました。次に曲の配置は、あまり激しい運動ばかり続かないように、また一つの動作(曲)から次の動作(曲)に移る場合、ぼつんぼつんと切つてすると、主題の流れというものもスムーズに運ばれないし、ガヤガヤなり出

すとこれからしようとすることが徹底しにくいので、二つの動作(曲)の間出来るだけピアノを途切らせないで、例えばお手て、つないでをひいてお子さんの動作もとまらせず歩かせその間に次の情景を語り次の動作(曲)に移るようにしようと、一応頭では計画をたてました。

それからもう一つ、リズム遊びで一番大切なことは、みんな楽しく遊ぶということです。楽しい雰囲気の中で、こちらの思うような表現は出なくても、まず楽しんでやるのが一番大切なことだと自分によく云い聞かせました。

さて当日、池の組がお遊戯室を使用する時間は、一番早く、9時30分から10時までの予定でした。そのため自由遊びの時間はほんとに僅かで切り上げ、9時15分に集まって遠足についての話し合いを話しました。「今度の遠足はどこへ行くのだったかしら」ときり出すと、みんな一度に「馬事公

苑！」それから各々が口々に遠足についてしゃべり出しました。やっとみんなを絵の方に集中させ、バスに乗っていくこと、馬のこと、お弁当のことなど、とても楽しく話し合いを進めました。

「さあ、それではみんなでお遊戯室へ行って一度馬事公苑へ遠足に行ってみましょう。」と、お遊戯室へ出かけました。

○お遊戯室でのリズム遊びの流れ

・行進 さあ、元氣よく歩きましょう。

・お日様 遠足の日が今日のようによいお天気だといいわね、よいお天気になるようにキラキラお日様になりましょう。

・バス それでは、馬事公苑行きのバスが出発しますよ。

・花 さあ着きました。向うにきれいなお花が咲いていますね。誰かお水

をあげて下さいな。

- ・お馬の親子 向うでお母さん馬と子馬が草を食べてますよ。二人ずつ一しよになつてお母さん馬と子馬になりましょう。

(運動会の時にした遊戯)

- ・馬にのる 今度は馬にのつて走らせましょうか。落ちないように手綱をしつかりにぎつてね。

- ・ブランコ ブランコがあるからみんなでこいでみましょう。：一人のりでも、二人のりでも、立つてこいで、すわつてこいでもいいわね：：体をゆらして：：

- ・お弁当 疲れたでしょう。すわつてお弁当にしましょうね。みんなのお弁当は何かしら。

- ・フォークダンス さあ立つて、芝生の上で二人ずつ手をつないで踊りましょう。

(The first of April 運動会の時

にした遊戯)

- ・からす 馬事公苑には大きな木がたくさんあるから、いろいろの鳥が住んでいますよ。きつとからすも飛んで来るでしょうね。：からすは雀よりずつと羽が大きいわね。

- ・木の葉 今頃は木の葉も赤くなったり黄色くなつて、ひらひら落ちてるかもしれないわね。

- ・どんぐり どんぐりもころころ沢山落ちてるでしょうね。

- ・バス さあそれではまたバスにのつて帰りましょう。(以上約20分)

- ・スキップ 一人二回ずつ廻る。(以上約10分)

以上の如く一応進めましたが、まずこの30分間が朝の時間だったので、お子さんが気分も爽かで疲れていないことにより、次にバスに乗るとか花になるとかなどは、い

つても自由表現を繰返しているものであること、またその間には運動会の時にした遊戯が二つ含まれていたことなどにより、皆、安定した気持で一牛県命跳んだりはねたり揺れたりしていました。

けれども自分の態度をふり返つて見ると、私はただ計画通り進めば、無事に済めばという気持であせりピアノを続けていたように思えます。もっと突っ込んでいけばよい所も失敗がこわくてそつと通りすぎたようなところもあります。また私のピアノの未熟さから、ピアノをひきながらもつと話しかけて助言し、その雰囲気を高めなければならぬのに、そう出来なかつたし、また一人ひとりの動きをみておもしろい表現があればすぐとりあげて「こういうお花もあつたわね。」と示すことも大切なのに、お子さんの全体をみているだけで精一杯でそれも出来ませんでした。だから全く盛り上りというものがなく、平坦に浅く流れて

しまった感じでした。始めての自由表現、木の葉とフランコも、一応頭で、こういう風に助言、誘導して、もっていかうと考えていましたが、いざとなるとその1/10のこつとばも出ず、この日のリズム遊びの山とするところか、全く軽くかすった程度に終わってしまった感じでした。この時も一例えば木の葉はほとんどが立ち止って手をひらひらさせていましたが、一言「風がふくと遠くまでとんでいくでしょう」などと声をかければ、ずっと面白い木の葉がたくさん出たでしょうに。

リズム指導の大切さ、そして難しささえ思えば思うほど、あまりにも未熟な、能力のない自分が悲しくなります。でも、ピョンピョン一牛東命うきぎになりきって跳んでいるお子さん、お遊戯室で好きだけスキップをしてきたのに「先生ももっともつとしたい」というお子さん、お仕事をしながらひとりでに節を作って何か口ずさんでいる

お子さん、なわとびでもまりつきでも歌をうたって一層それらの遊びを生きいきさせてるお子さん、このようにいつもリズムであふれたお子さんの生活を思うとき、もつともつとよい先生になるために頑張らなくては、ピアノも上手にならなくてはと強く思います。

(お茶の水女子大学保育実習生)



予

告

◎ 実際指導研究会

期日 昭和三十三年六月

六(金)七(土)八(日)の三日間

会場 お茶の水女子大学講堂

主催 お茶の水女子大学付属幼稚園内

幼児教育研究会

◎ 幼児教育講習会

期日 昭和三十三年七月

二十一日—二十五日

(午前九、〇—午後四、〇〇)

会場 お茶の水女子大学講堂

科目

第一部(午前)幼児教育の理論

第二部(午後)幼児のリズム指導

主催 お茶の水女子大学付属幼稚園内

日本幼稚園協会